

| | |
|------|-----------|
| コード | 601030802 |
| 記入日: | H22.5.10 |

| | |
|------|-------|
| 課コード | 122 |
| 課名 | 総合窓口課 |
| 課長名 | 釜崎 信弘 |
| 担当者 | 村田 善照 |

事務事業事後評価表

| | |
|------|----------|
| 作成年度 | 平成 22 年度 |
|------|----------|

| | |
|----------|---------------|
| 評価対象事業名称 | 戸籍システムリプレース事業 |
|----------|---------------|

| | |
|------|---------------------|
| 事業種類 | 単年度事業 |
| 事業期間 | 平成 21 年度 ~ 平成 21 年度 |

| | | | | | |
|-----------|----------|--------|-----------------------|-----------|-----|
| 総合計画の位置付け | | | | 財務会計の位置付け | |
| 政策コード | 6 | 政策名称 | 参加と行政による協働のまちづくり | 款コード | 2 |
| 施策コード | 601 | 施策名称 | 行財政の効率化の推進 | 項コード | 3 |
| 基本事業コード | 60103 | 基本事業名称 | 効率的、効果的な財政運営と事務事業の見直し | 目コード | 1 |
| 事務事業コード | 6010308 | 事務事業名称 | 戸籍基本住民台帳費 | 細目コード | 122 |
| 関連計画 | 法令・条例規則等 | | | | |

計画(PLAN) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

| | | | | | | |
|---|--|--|--|---------------------|-------|---|
| 対象: 誰、何を対象にしているのか | | 対象指標: 対象の大きさを表す指標 | | | | |
| (対象1) 本町にある本籍のある者 (対象2) | | (対象指標1) 本籍人口49,742人(H20.3.31現在) (対象指標2) | | | | |
| 事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入 | | 活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度) | | | | |
| (全体) | | (指標名称) | | (指標数値) | (達成率) | (達成率積算根拠) |
| ***** | | ***** | | ***** | ***** | ***** |
| 戸籍システムの継続導入により本籍のある者のサービスの充実が図られた。 戸籍用システム 1.0式 使用ソフト導入 システム保守 | | ① システム導入 | | 1.0式 | 100% | 戸籍用システム、ソフト使用、システム保守 ***** 平成21年度 |
| | | (達成率分析) | | 計画どおり実施された。 | | |
| | | ② | | ***** | ***** | ***** |
| | | (達成率分析) | | | | |
| 目的: 何をしたいのか | | 成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度) | | | | |
| | | (指標名称) | | (指標数値) | (達成率) | (達成率積算根拠) |
| | | ***** | | ***** | ***** | ***** |
| 新システムの構築を含む戸籍システム継続導入により、戸籍届出処理・証明処理等の正確性の確保及び迅速化、並びに本庁支所間のデータ共通利用による利便性に資するとともに、戸籍データ及び戸籍システムを良好な状態に保つことにより、本籍のある者のサービスの充実を図る。 | | ① 進捗率 | | 100% | 100% | 戸籍用システム、ソフト使用、システム保守 ***** 平成21年度 |
| | | (達成率分析) | | 計画事業費以下でリプレースが完了した。 | | |
| | | ② | | ***** | ***** | ***** |
| | | (達成率分析) | | | | |

実施(DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

| | 単位 | 全体計画 H 21 ~ H 21 | | 平成20年度以前 | 平成21年度 | |
|-------------|-------|------------------|-------|----------|--------|-------|
| | | 計画 | 実績 | 実績 | 計画 | 実績 |
| 活動指標 | ① 式 | 1.0 | 1.0 | | 1.0 | 1.0 |
| | ② | | | | | |
| 成果指標 | ① % | 100 | 100 | | 100 | 100 |
| | ② | | | | | |
| 総事業費C (A+B) | 千円 | 8,493 | 6,791 | | 8,493 | 6,791 |
| 直接事業費 A | 千円 | 7,793 | 6,091 | | 7,793 | 6,091 |
| 人件費 B | 千円 | 700 | 700 | | 700 | 700 |
| 内訳 | 従事職員数 | 人 | 0.1 | | 0.1 | 0.1 |
| | 人件費単価 | 千円 | 7,000 | 7,000 | 7,000 | 7,000 |
| Cの財源内訳 | 国補助金 | 千円 | | | | |
| | 県補助金 | 千円 | | | | |
| | 起債 | 千円 | | | | |
| | その他 | 千円 | | | | |
| 一般財源 | 千円 | 8,493 | 6,791 | | 8,493 | 6,791 |

コード 601030802

評価(CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

| | | | |
|-----|------------------------------------|---------------|--|
| 妥当性 | 町が税金を投入して行う必要がありましたか。 | ● はい ● いいえ | 理由 H16から戸籍システムが電算化されているため、このシステムを利活用することが正確性の確保や迅速な事務処理が可能であると判断された。 |
| | 時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。 | ● はい ● いいえ | 理由 法務省から全国の市区町村に戸籍事務のコンピュータ化を促進するよう要請されていた。 |
| | 事業の対象・目的は適切でしたか。 | ● はい ● いいえ | 理由 本町に本籍がある者が対象であり、官公署、本人からの交付請求、関連戸籍の検索等目的は適切であるものと判断された。 |
| 有効性 | 事業の目的は達成されましたか。 | ● はい ● いいえ | 理由 職員が減少する中で、戸籍届出処理から証明処理の交付、本支所間のデータの共有で、利便性が向上した。 |
| | 成果を向上させる余地はありませんでしたか。 | ● はい ● いいえ | 理由 申請者には充分理解が得られ、これ以上成果を向上させる余地はなかった。 |
| | 事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。 | ● はい ● いいえ | 理由 事業を行わない場合の影響は、甚大で迅速で正確な情報提供ができなくなってしまう。 |
| | 類似事業との整理統合はできませんでしたか。 | ● はい ● いいえ | 理由 類似事業はなかった。 |
| 効率性 | 直接事業費を削減することはできませんでしたか。 | ● はい ● いいえ | 理由 H16から20年までの状況を勘案し、実態に合わせ削減に取り組んだ。 |
| | 人件費を削減することはできませんでしたか。 | ● はい ● いいえ | 理由 限られている人件費の中で効率を図っているものの、これ以上の削減は難しかった。 |
| | 受益者負担は適正でしたか。 | ● はい ● いいえ | 理由 受益者負担はなく適正であった。 |

改善(ACTION)

| | |
|------|--|
| 1次評価 | ○今後の関連事業に対する改善点 計画どおり目的は達成された。 |
| | ○目的が達成されていない場合の課題と改善策 なし |
| 2次評価 | 当初計画の予算額以下でのリプレースを完了できている。これ以降の事務に支障なきよう努めること。 |

| | |
|--------|--|
| 住民等の意見 | |
| 町の対応 | |

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。